

等にとつては、労働條件の維持改善運動は、附け足しの、餘分の運動であるか、若しくは單なる表看板に過ぎないのである。

彼の無茶な、氣狂ひじみた健康保険に關する彼等の政策は、『方向轉換』の道行の一面を物語つてゐる。

七、大同團結運動に於ける毒虫

幹部は、無産階級の大同團結、無産者団体の共同戦線を唱えてゐるが、彼等の運動方法はその正反對である。

大同團結、協同戦線に臨む彼等の態度は、自分達と主義の一致を見ない他団体の幹部の『排撃』か、良く取り扱つて『單なる利用』か、さもなくば、他団体が一諸になることが出来ない様な非現實的案を主張することである。

白紙に直線を引くが如き、氣狂ひじみた政策を行ふ非常識的な評議會幹部は、社會運動の毒虫であると云つて過言ではないであらう。

吾々は、評議會幹部の非現實的運動と資金との結合を、大体に於て述べた。吾々は多くのヨリ具体化された事實と證明とを有するが、この内争から漁夫の利を占めんとする者を懸念するが故に、他の發表と曝露とは後日に保留する。

評議會幹部は、自己の非を否認したり、或いは、それに理論附けたりして、却つて吾々を『裏切者』『資本家官憲との協力者』等と中傷逆宣傳するであらう。

然し、右に述べたことが事實であるや否や、又如何に幹部の政策が労働者の生活を蹂躪するものであるか否かは、今日迄の幹部の政策の跡を顧るか、評議會の現狀を直視すれば明かである。

總同盟との分裂直後に於いて、二万幾千かの組合員數を有した評議會は、現在では約一万に過ぎぬではないか！

昨年來、如何に多くの組合員を失へ、如何に多くの組合員を貧のドン底に泣かしたることよ！